

氏名	鈴木 康美	部署	看護学科 基礎看護学	職名	教授
研究分野	看護管理学、継続教育、成人学習、リフレクション				
学位	修士(看護学)				
学歴	昭和55年3月山田赤十字看護専門学校卒業、平成10年3月放送大学教養学部教育発達専攻修了教養学士、				
経歴	平成7年4月～平成26年5月東邦大学医療センター佐倉病院、平成22年4月～平成25年3月東邦大学看護キャリア支援センター副センター長、平成26年5月～平成28年3月日本保健医療大学 保健医療学部 准教授 平成28年4月～ 埼玉県立大学 保健医療福祉学部 看護学科 教授				
所属学会(役職)	日本看護科学学会、日本看護管理学会、日本看護研究学会、日本看護教育学学会、日本協同教育学会				

【2017年度実績】

1. 研究業績					
	著作・論文・学会発表等の名称	単著・共著の別	(1)発行所、全ページ数 (2)雑誌名、巻(号)、開始-終了ページ (3)学会名、開催都市	(1)(2)著者、編者名 (3)発表者(発表者は○印)	発行・発表年月
(1) 著作					
1	リフレクションによる新人・看護管理者の支援と研修の方策 1～3回	単著	日総研、17ページ、看護人材育成6月P89-93、8月92-97、10月123-128.		2017、6月、8月、10月
2					
3					
(2) 論文					
1	組織全体で看護実践のリフレクションに取り組んだ組織変革の効果に関する研究	単著	SPU保健医療福祉科学 2017:7:46-52		2018. 3.
2					
3					
(3) 学会発表					
1	該当なし				
2					
3					
(4) その他					
1	該当なし				
2					
3					
2. 競争的資金等の研究					
	競争的資金等の名称	研究名、研究代表者・研究分担者の別	研究期間		
1	文部科学省・日本学術振興会科学研究費補助金(基盤研究C)	看護教員の教育力量形成に関する研究(研究分担者)	2017、4、～18. 2.		
2	奨励研究C	地域連携を活用した学習する組織を目指す教育責任者の中長期育成支援プログラム(研究代表者)	2017、4、～18. 2.		
3					
3. 教育業績					
	講義・演習・実習・論文指導等の名称	期間	概要(教育内容・方法等において工夫した点)		
(1) 講義					
1	看護方法Ⅱ	2017. 4～6	科目担当者として、2年生を対象に、日常生活援助、清潔ケアを、安全に、安楽に、患者の状況に応じて考えられるよう指導した。		
2	看護管理	2017. 4～5	看護管理の概念、マネジメントプロセスに関する理論、看護職に関連する法令、キャリア開発等の講義、協同学習の演習方法を活用したグループ学習で理解を深めた。		
3	看護管理学システム論	2017. 4～7	大学院生を対象に、看護管理全般の講義・討論のサポートをした。		
4	看護教育学	2017. 4～7	科目担当者として、大学院生を対象に、院内継続教育、キャリア開発に関する講義、討論。		

(2) 演習				
1	看護方法Ⅰ	2017. 11～18. 2.	1年生を対象に、環境整備、バイタルサイン測定、感染予防の基礎看護技術を、原則に沿って学習を支援した。	
2	看護方法Ⅱ	2017. 4～6	2年生を対象に、日常生活援助、清潔ケアを、安全に、安楽に、患者の状況に応じて実施できるよう指導した。	
3	看護方法Ⅲ	2017. 4～6	2年生を対象に、診療の補助の技術（採血、与薬等）を、基本原則に沿って、安全に、安楽に、実施できるよう指導した。	
4	看護方法Ⅳ	2017. 6～8	2年生を対象に、ヘルスケアアセスメント、日常生活援助を、安全に、安楽に、患者の状況に応じて考えられるよう指導した。	
5	卒業研究	2017. 4. ～12	4年生、5名を対象に、それぞれの研究目的に合わせて、文献研究、現状調査、インタビュー調査を行い、論文としてまとめた。	
(3) 実習				
1	ヒューマンケア体験実習	2017.9	実習指導者として、1年生を対象に2施設の学生10名が、円滑に実習できるよう、実習調整、オリエンテーション、カンファレンスの支援を行った。	
2	基礎看護学実習Ⅰ	2018. 1～2	実習指導者として、草加市立病院で、1年生を対象に、シャドーイング実習、カンファレンス等を支援した。	
3	基礎看護学実習Ⅱ	2017. 8～10	科目責任者として、2年生を対象に看護過程の展開を目的に、実習調整、オリエンテーション、非常勤実習指導者のフォロー、困難な学生の対応等を行ない、基礎実習が円滑に運営されるように支援した。	
(4) 論文指導				
1	修士課程	2017.4～2018.3	副指導：3名	
2				
3				
(5) その他				
1	質的研究会	2017.4～2018.3	質的研究に取り組み大学院生の勉強会のサポートをした。	
2				
3				
4. 社会貢献活動				
(1) 講演会、研修会等の講師				
	講演会、研修会等の名称	主催	講演、研修等のテーマ	開催年月
1	新人看護職員研修責任者研修会	大阪府看護協会	成人学習論、新人看護職員研修計画立案	2017.9
2	新人看護職員研修責任者研修会	千葉県看護協会	新人看護職員研修計画の立案について	2017.9
3	看護学教育指導者研修—ベーシックコース	千葉大学大学院看護実践研究指導センター	看護における成人学習のあり方	2017.8
4	認定看護師緩和ケア	埼玉県立大学認定看護師教育課程	医療安全、看護管理	2017.9
5	認定看護管理者研修セカンドレベル	新潟県看護協会	組織論	2017.6
6	病院管理職コミットメント研修	セコメディック病院	病院の理念、ビジョンから、次年度の計画立案	2018.1
(2) 国、自治体、財団法人等における委員等				
	国、自治体、財団法人等の名称	委員等の名称		任期
1	該当なし			
2				
3				
(3) ジャーナリズムでの発言				
	メディア等の名称	内容		年月
1	該当なし			
2				
3				
5. 学内運営(委員会委員)				
1	入試委員会 委員			
2	保健委員会 委員			
3				

6. 受賞(研究、教育、社会貢献活動に関するもの)			
	受賞名	主催	受賞年月
1	該当なし		
7. 特許の保有状況			
	特許名	特許番号	登録年月
1	該当なし		
8. 特記事項			
	該当なし		